

## 令和7年産 紀南のみかん産地情報

2025/7/9

1. 本年の早生みかんは、満開日が5月4日と前年より4日程度遅く、平年より2日程度遅くなった。

満開後は曇雨天が多く日照量が少なかったことから、第一次生理落果・第二次生理落果共に多くなった。現在は順調に生育している。



2. 極早生みかんの着果は平年並み、早生みかんは園・樹によりバラツキはあるが、着果は平年と比べやや少ない傾向にあり、現在は高品質果実生産のためのマルチ被覆やフィガロン散布を呼びかけている。

7月5日時点の果実肥大は、日南1号で果径は33.2mm（前年比102.5%、平年比99.4%）と前年・平年並みであり、早生みかんは32.9mm（前年比100.9%、平年比105.8%）で前年・平年並みとなっている。

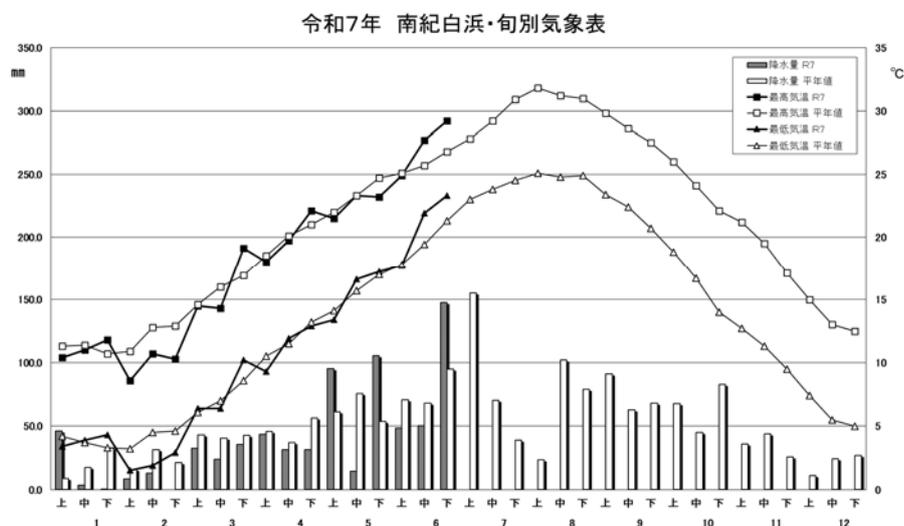
3. 今年産の生産予想量（7月8日時点）

品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比	平年比
極早生	178.4	2,684	117.2%	93.3%
早生	446.7	5,402	121.9%	92.1%
合計(普通含む)	629.1	8,099	120.3%	92.5%

生産量は今後の気象等により変動することがある。

4. 病害虫については、一部園地でそうか病やカミキリムシの発生が見られる。また、6月上旬の強風の影響による傷果が確認されている。

5. 果実生育期の気温は、6月中旬以降は平年よりかなり高く推移した。また、降水量は5月下旬、6月下旬で平年を上回ったが、その他は平年をやや下回った。



南紀白浜気象データより